

令和6（2024）年度もお世話になりました！

子どもたちの主体的な学びを支える「学校運営協議会」での熟議

令和元年度に第一中学校区に学校運営協議会(以下学運協)が設置され、第三中学校区・第二中学校区と続き、市内全中学校区がコミュニティ・スクールとなり、4年が経過します。

今年度は、各学校区学校運営協議会での話し合いや熟議の中で、子どもたちが主体的に学び、生き生きと成長していくために、学校・地域・保護者が協力して支えていくことについて、考える機会が多く設けられました。



一中校区・第一回学校運営協議会



三中校区・大人熟議



二中校区・わいわいトーク



一中校区・大人熟議

学運協委員対象のアンケートでは、☆委員が学校運営に関してしっかり議論を行っていると感じて、さらによりよい学校づくりを(共に)進めるという自覚が進んできています。

☆一方で、議論の結果各主体が実行すべきこと・役割分担については明確でないと感じています。

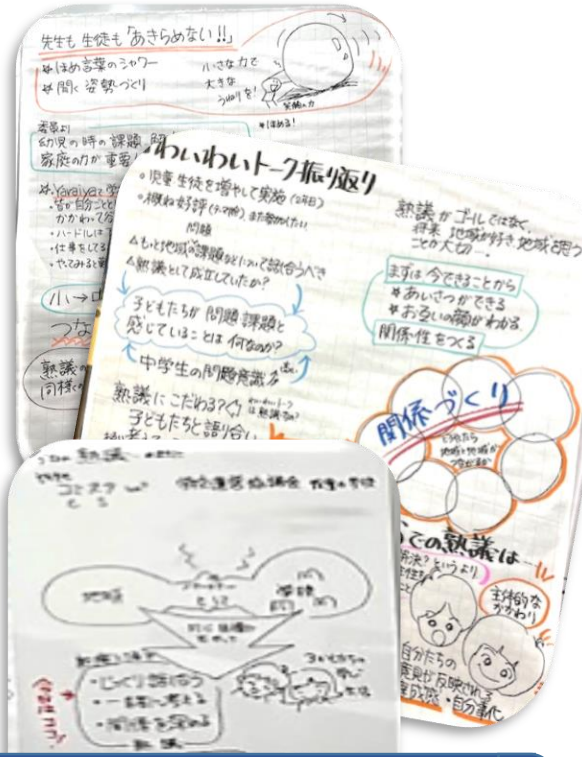
教職員対象のアンケートでは、☆保護者や地域住民が学校運営にかかわることは必要、授業支援やゲストティーチャーを保護者や地域住民にお願いすると9割以上が答えています。

☆しかし、学校内での活動について保護者や地域住民と相談しながら課題解決や方向性を決めていくという意識は高くありません。

今後は、学運協等でしっかり話し合い、学校・地域・保護者の役割を明確にして、協働して「子どもたちの主体的な学びや活動」を支える仕組みを整えていく必要があると思います。



3/30(日)ー中生 **初** 企画！
「一中夢中カフェ」塚の山桜まつりにオープン！！
各所の桜祭りでも、市内の中学生ボランティアが活躍予定です！
応援よろしくお願いします♡♡



拡がり、充実する「地域学校協働活動」

学校発・学運協発・生徒発・公民館発・地域発



授業支援



地域チャレンジ



シークレットベース



放課後子どもタイム

今年度の地域学校協働活動について、各学校・公民館に振り返りをお願いしました。地域学校協働本部運営委員会では、学校と地域の先生とのつながりが増え、複数回のかかわりで、お互い顔がわかり、関係が深まっている。公民館は、学校では実施が難しいことを講座等で企画している。学運協などの話し合いから中学生の自主的な企画等の実現を支援している。と報告がありました。市全体の事業数は昨年度比で50以上増加し、特に第二のコーディネーターである公民館がかかわる機会が増えています。回数だけでなく、人数や実施の時期なども工夫されています。子どもたちのために協力する体制は整ってきました。事務局では、今年度、もっと多くの市民の皆さんに伝える必要があったことを反省とし、次年度は多くの方にタイムリーに「知ってもらう」ことで、「関わってもらう」ことにつなげていきたいと考えています。